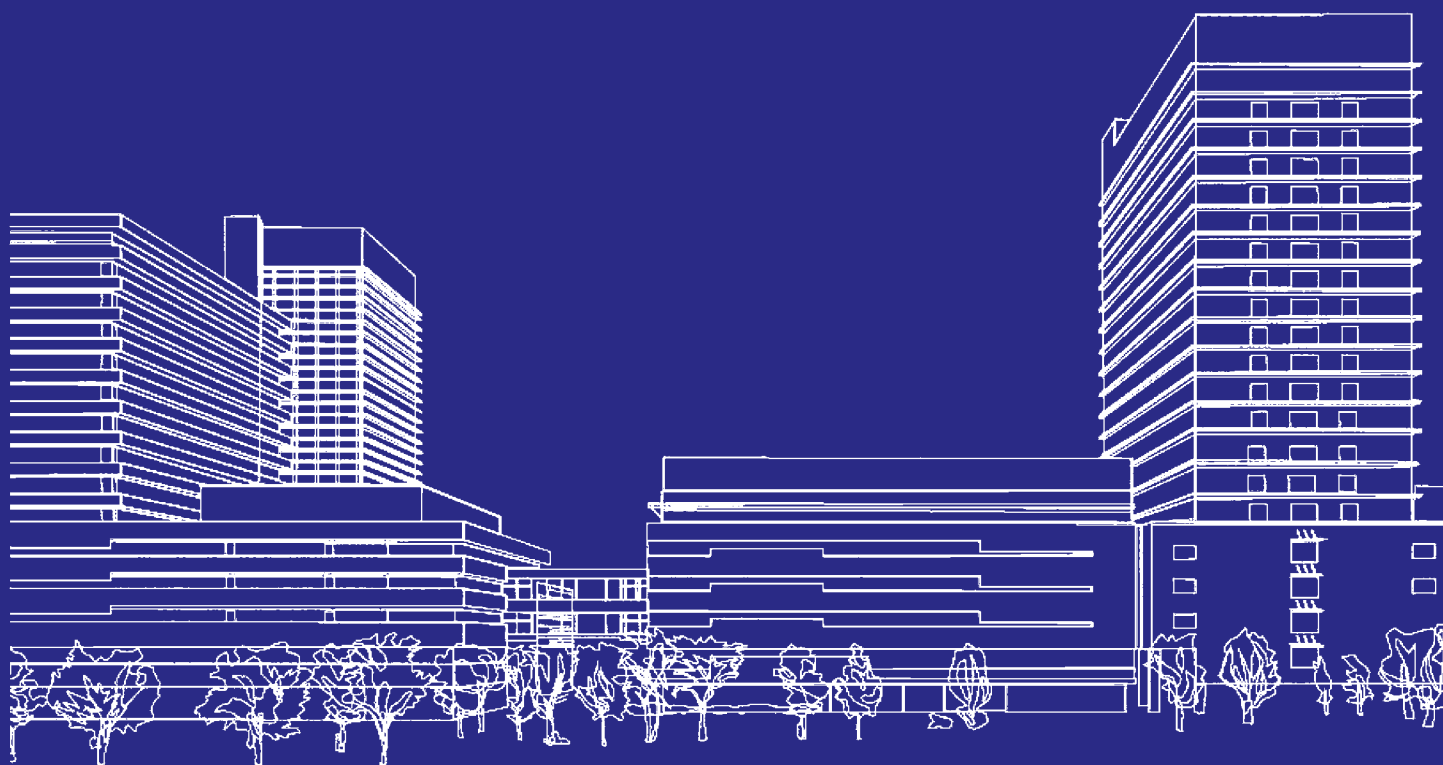


# JIKEI RECRUIT



学校法人 慈恵大学

# 病気を診ずして病人を診よ

建学の精神「病気を診ずして病人を診よ」は、創設者高木兼寛が目指した「医学的力量的のみならず、人間的力量をも兼備した医師の養成」を凝縮したものである。この精神は看護学教育にも「病気を看ずして病人を看よ」として取り入れられている。

本学の研究と医療を通じた社会貢献もこの精神のもとで行われる。



学祖 高木 兼寛

学祖・高木兼寛（1849～1920）は、英国のセント・トーマス病院医学校に留学した際に、人道主義に基づく英国医学に深い感銘を受け、帰国後、病に悩む人を中心に考える学風の医学校、病院、看護学校を次々に創設しました。

人を慈しみ恵む心を忘れず、人間愛に根ざす医療の確立。

それは、本学の建学の精神「病気を診ずして病人を診よ」によって端的に表現されています。

この思いは、医師や看護師をはじめとする全てのスタッフに、広く浸透していることは言うまでもありません。

まず患者さんのことを第一義に考える医療の実践に向けて、慈恵スタッフは邁進しています。

## 慈恵医大の沿革

- 1881 成医会発足 成医会講習所設立
- 1882 有志共立東京病院を開院
- 1885 日本初の看護婦教育所を付設
- 1887 皇后陛下より「慈恵」の名を賜り「東京慈恵医院」と改称
- 1903 専門学校令により私立東京慈恵医院医学専門学校へ改称
- 1922 附属病院（本院）開院
- 1946 附属東京病院分院青戸病院 開院
- 1950 附属第三病院 開院
- 1987 附属柏病院 開院
- 1994 附属病院（本院）が特定機能病院として承認
- 2002 慈恵医大晴海トリトンクリニック 開設
- 2007 附属第三病院に森田療法センター開設
- 2012 附属青戸病院が葛飾医療センターとして開院
- 2019 附属病院（本院）新橋健診センターリニューアルオープン
- 2020 附属病院（本院）新外来棟・母子医療センター開設
- 2026 附属第三病院が西部医療センターとして開院

# 慈恵大学行動憲章

1. 全人的な医療を実践できる医療人の育成を目指します。
2. 安全性に十分配慮した医療を提供し、社会の信頼に応えます。
3. 規則を守り、医の倫理に配慮して研究を推進し、医学と医療の発展に貢献します。
4. グローバルな視野に立ち、人類の健康と福祉に貢献します。
5. 情報を積極的に開示して、社会とのコミュニケーションに努めます。
6. 環境問題に十分配慮して、教育、診療、研究を推進します。
7. お互いの人格と個性を尊重し、それぞれの能力が十分に発揮できる環境の整備に努めます。

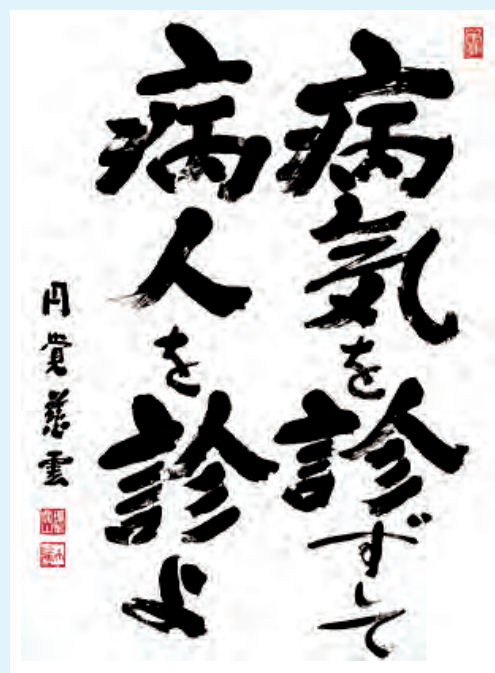
## 東京慈恵会医科大学附属病院

### 病院の理念

「病気を診ずして病人を診よ」の教えに基づき、質の高い医療を実践し、医療人を育成することにより、社会に貢献し、患者さんや家族から信頼される病院をめざす。

### 病院の基本方針

1. 患者さんや家族が満足する良質な医療を実践する。
2. 先進医療の開発・導入など、日々、医療水準の向上に努める。
3. 優れた技能を身につけ、豊かな人間性と倫理観を兼ね備えた医療人を育成する。
4. 地域社会と連携し、きめ細かな医療サービスを提供する。
5. 全職員が誇りをもって働ける職場づくりを実践する。



# 理事長メッセージ



学校法人慈恵大学  
理事長 栗原 敏

## 喜びを実感できる職場で 働きませんか

日本は稀にみる高齢社会になり、国は医療と介護の一体的取り組みを進めようとしています。また、医学・医療は日進月歩で、遺伝子情報に基づいたゲノム医療やiPS細胞を用いた再生医療などによる難病の治療法の開発が進められています。しかし、医療費は年々増え続け日本の財政を圧迫しており、医学・医療の在り方が社会問題になっています。

学祖・高木兼寛は、鹿児島藩の医学校でアイルランド出身のウィリアム・ウィリスと出会い、患者さんを良く診る英国医学に出会い感銘を受けました。ウィリスの勧めで英国に留学し、帰国してから、本学の前身である成医会講習所を開設して(1881年)、患者さんを良く診る医師の育成を始めました。

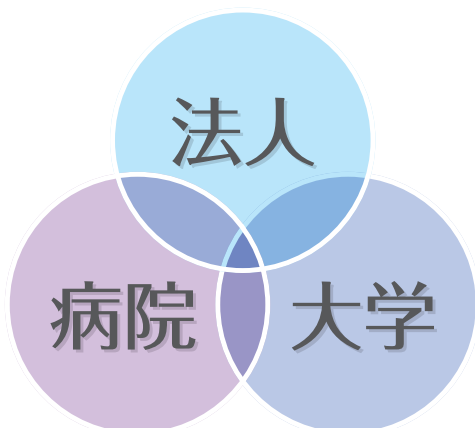
それに続いて、貧しい人も医療を受けられる施療病院(有志共立東京病院)を開院しました。また、英国留学中に、医療の現場では看護教育を受けた看護婦が医師と共に治療にあっているのを目の当たりにして、看護婦の教育が必要であることを実感しました。帰国後、看護婦教育所を開設し(1885年)、看護婦の育成に努めました。このように本学は“病める人を良く診(看)て寄り添い、より良い医療を患者さんに提供する”という学祖の理念を継承してきた、歴史ある私立医科大学です。

本学は、東京慈恵会医科大学(医学部医学科・看護学科)、看護専門学校を設置するとともに、より良い医療の提供と医師・看護師の育成を目的として、4つの附属病院(本院、葛飾医療センター、西部医療センター、柏病院)を運営しています。また、学校法人の各職場では、病気を診るのではなく、病を抱えている人を全人的に診よという高木兼寛の理念のもとに、人と人との和を大切に、喜びをもって働けるように配慮しています。今後も日々患者さんに安全・安心の医療を提供する病院と教職員の働きやすい職場環境を目指してまいります。

本学は今日に至るまで、関東大震災、リーマンショック、新型コロナウイルスなど、大きな社会環境の変化にも柔軟に対応し、堅実に運営されてきました。医師や看護師・保健師を育成し、また、医学研究を振興することによって医療・医学に貢献している慈恵大学は、有能な人材を求めています。

慈恵大学で働く中で、皆さん自身が成長し、医療・医学を通して社会貢献できる喜びを実感できるに違いありません。慈恵大学は創立の理念に共感する意欲ある方を待っています。

## 本学の事業



### すべては患者さんのために

医師・看護師の「教育・養成」、最先端の「医学研究」、各附属病院における患者さんの「診療」、この3つの事業を柱とし多くの部署を有しています。

医師、看護師、コメディカル、事務職など30をこえる職種があり、それぞれの仕事内容は異なりますが、“患者さんが最適の環境で医療を受けられるように”と考える点では1本の線につながっており、建学の精神「病気を診ずして病人を診よ」はスタッフ一人ひとりの心に受け継がれています。

円滑なコミュニケーションをはかることにより、有機的に絡み合い最大限の組織力を発揮しています。

# 大学・附属病院紹介

## 大学医学部 西新橋キャンパス



## 大学医学部 国領キャンパス



### ～患者さんを全人的に診る医療者育成をめざして～

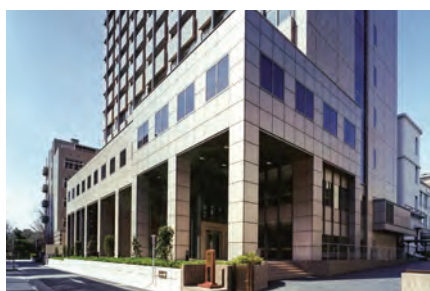
医学科・看護学科（西新橋キャンパス・国領キャンパス）

「医師と看護婦（師）は車の両輪の如し」という学祖の考えと建学の精神

「病気を診ずして病人を診よ」を大切にし、

人間性豊かで優れた医療・看護を実践できる医療者を育成し続けています。

## 看護専門学校



附属病院（本院）に隣接



西部医療センターに隣接



柏病院に隣接

慈恵の精神に則り、人間性の滋養につとめ社会に貢献できる有能な看護師を育成しています。

## 教育センター

教育研究水準の更なる高度化、大学運営基盤の強化等を目指しています。

○戦略的大学連携支援事業及び大学教育

○学生支援推進事業大学教育推進



## 常に最高水準の医療を提供する

病床数 / 1,075 床  
 診療科目数 / 40 科目  
 外来患者数 / 約 2,800 名 (1 日平均)  
 教職員数 / 約 2,600 名

最先端の医療技術とサービスを取り入れ、特定機能病院として高度な医療と全診療科における 24 時間体制の救急医療を提供しています。患者さん本位の医療環境体制を構築し、全国より来院される患者さんの満足度の向上に努めています。



## 地域と共生し進化・創造し続ける病院を目指す

病床数 / 371 床  
 診療科目数 / 26 科目  
 外来患者数 / 約 1,100 名 (1 日平均)  
 教職員数 / 約 780 名

約 8 割の患者さんが葛飾区内から来院する地域密着型病院です。地域の中核病院としての役割と責任は大きく、総合医療体制、救急診療体制を強化し本院や近隣の医療機関との医療連携を推進しています。住み慣れた地域での生活を支援できる病院を目指しています。



## 安全な医療と思いやりのある対応で 地域で一番信頼される病院を目指す

病床数 / 494 床  
 診療科目数 / 26 科目  
 外来患者数 / 約 1,100 名 (1 日平均) ※旧第三病院実績  
 教職員数 / 約 1,100 名

東京慈恵会医科大学附属第三病院をリニューアルし、2026 年 1 月より「東京慈恵会医科大学西部医療センター」として診療を開始しました。旧第三病院の頃より、地域医療支援病院及び急性期病院として、近隣の医療機関や医師会と連携し、狛江市、調布市、世田谷区等の多くの患者さんを受け入れてきました。西部医療センターでは、高度な専門性を有する医療スタッフがチーム医療で診療をつなぎ、切れ目のない医療を提供します。急性期から在宅・介護まで地域をつなぐ体制を整え、また、出産から看取りまで人生をつなぐ医療を実践します。これらの「つなぐ」医療を通じて患者さんやご家族に安心と希望を届け、地域で一番信頼される病院を目指します。



## 地域に根ざした先進的医療と 患者さんの立場に立った医療を提供をする

病床数 / 664 床  
 診療科目数 / 27 科目  
 外来患者数 / 約 1,500 名 (1 日平均)  
 教職員数 / 約 1,200 名

都心に近い千葉県東葛北部地域において医療全体の役割を担っており、24 時間断らない救急医療を目指しています。また、急性期医療の大学病院として高度な医療を提供すると共に、患者さんがスムーズに診療・検査・入院ができるようにコーディネートを行い、地域循環型・地域完結型医療を実践しています。

# 病院業務・職種紹介

30 を超える職種のスタッフたちが患者さんのためにベストをつくしています

全ての職種がベストな医療を提供する

お互いが平等な立場でコミュニケーションをとる

協力して患者さんに最良・最適な医療サービスを提供する

## ■ 事務員（管理課）



※葛飾・西部・柏については、総務・人事・財務など病院の管理・運営に関する業務を行います。

### 病院の管理・運営を支える多岐にわたる業務を行います

- 医療法、保険法に係る官公庁への許認可、届出書類作成（開設許可関係、施設基準届出関係）
- 地域がん診療連携拠点病院、東京都総合周産期母子医療センター、DMAT（災害派遣医療チーム）等の事務局業務
- 各種補助金申請、行政からの調査依頼に対する回答作成
- 病院の広報業務・医療訴訟の対応・高度先進医療、臨床研究の推進など

全職種から院内の運用や手続きに関する問合せがあります。誤った情報を伝えないように内容に応じて行政に確認するなど、情報収集と適切な発言に努めています。



## ■ 事務員（業務課）



### 患者さんへのサービス・保険請求を行います

- 初診受付、外来会計、各科受付
- 入院・退院の手続き
- 総合案内
- 診療報酬請求明細書の請求
- 診療報酬改定の対応
- 保険医への教育・指導
- 診療録の保管・管理
- 医師の事務作業サポート

常に笑顔で患者さんをお迎えし、院内の他職種の方々に対するときも同様に心がけています。患者さんに満足していただけるサービスを提供するためには、スタッフ同士の良好なコミュニケーションがとても重要であると考えています。



## ■ 医療ソーシャルワーカー

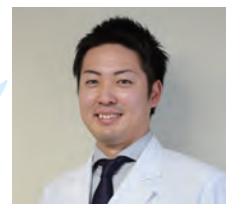


### 患者さんやご家族の身近な存在でいられるよう心がけています

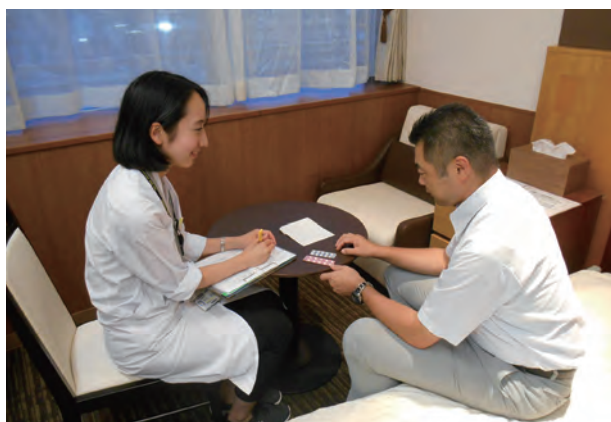
患者さんやご家族のお力になれるよう下記のような相談に対して問題解決のお手伝いをしています。

- 医療費の支払いや今後の生活費など、経済的な不安があるとき
- 転院先や施設を探したいが、どのようにしたらいいかわからないとき
- 出産や子育てに不安、サポートが必要なとき
- 身体に障害が残り、今後どのように生活したらよいかかわからないとき

院内の唯一の福祉職として、患者さんに寄り添い、「より良い生活」を一緒に考えるお手伝いをさせていただきます。クライアントファーストの支援を日々心掛けています。



## ■ 薬剤師



### 医薬品の供給・管理、薬物療法の向上を支えています

- 処方箋調剤、注射薬の個人別セット供給
- 注射薬の無菌調製
- 入院患者に対する病棟薬剤業務
- 医薬品情報の収集・評価・提供

がん化学療法、感染制御、栄養管理、緩和ケア、糖尿病治療などの業務においてスタッフ間での情報共有を行いながらチーム医療を実践しています。

入院患者さんの薬の使用記録、カルテ、看護記録、検査値などから症状を把握して、薬の効果、使い方、注意点などをお伝えしています。

また、安全で効果的な薬物療法を行うために、医療スタッフと綿密な連携をとっています。



## ■ 臨床工学技士



### 医療機器の専門家として、進化・挑戦し続ける組織を目指します

- 医療機器の機種選定から廃棄までの包括的な機器管理と保守点検業務
- 血液浄化療法全般および在宅血液透析療法
- 救命救急センター・EICU等の重症部門における、生命維持管理装置（ECMO等）への速やかな対応（ICUは常駐体制）
- 高度急性期医療や専門性の高い領域における、小児周産期医療をはじめとした人工心肺、手術支援ロボット、神経モニタリング、心臓カテーテル業務（冠動脈・不整脈）、ペースメーカー業務
- 医療機器安全管理の視点から、チーム医療の質向上を図るための安全な医療の提供

充実した教育体制のもと、臨床現場で必要な知識・技術を着実に習得できる人材育成に取り組んでいます。

わたし達は“あつかう機器とあずかる生命”をスローガンに、医療機器と患者さんの架け橋となることを目標としています。その中で、患者安全を第一に考え、患者さんの不安を和らげることや質の高い医療を提供する努力をしています。



## ■ 診療放射線技師



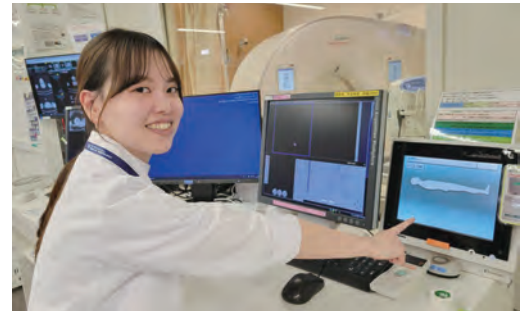
明るく楽しく働ける職場環境から未来に活躍する診療放射線技師を育成し、患者ファーストの医療を提供します

- 一般撮影、マンモグラフィ、透視、CT、MRI、超音波、血管撮影の画像検査及び IVR
- SPECT、PET の核医学検査および専門病棟での核医学治療
- トモセラピーや RALS / CT による高精度な IGBT が可能な放射線治療

最先端の画像診療機器を用いて質の高い医療を提供し、被ばく低減や医療安全にも配慮した検査を行っています。

画像診断・治療における専門性、技術向上のため教育・研究が強化された職場環境を構築し、チーム医療に貢献できる人材育成に努めています。

基礎を大切にし、正確で再現性の高い撮影を心掛けています。患者さんへの丁寧な説明と安全管理を徹底し、信頼される診療放射線技師を目標としています。



## ■ 栄養士・調理師



食の立場から患者さんの1日も早い回復に寄与します

- 「臨床栄養管理」と「給食経営管理」の両面から、患者さんの病気の治癒・回復に努めています。
- 各病棟に担当管理栄養士を配置し、栄養管理および栄養食事指導を行い、患者さんの早期回復に努めています。
- NST（Nutrition Support Team・栄養サポートチーム）や、緩和ケア、褥瘡、摂食嚥下などの専門チームにも参加し栄養管理を行っています。

一人ひとりの暮らしや思いに寄り添い、無理なく続けられる食事提案を心がけています。答えを一方向的に伝えるのではなく、安心して相談できる関係づくりを通し、前向きな変化につながる支援を目標としています。



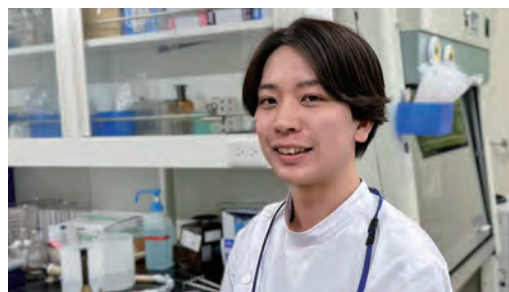
## 臨床検査技師



医師が適切な診断・治療ができるように、迅速かつ正確な臨床検査データを提供しています

- 生理機能検査として心電図・超音波検査、呼吸機能・睡眠時無呼吸検査、脳波・節電図検査
  - 検体検査として生化学、免疫血清、血液、尿、細菌、遺伝子、輸血検査、造血幹細胞や自己血の採取・保存管理
  - 病理検査として病理組織、細胞診検査
- その他、採血業務の実施や ICT、NST などチーム医療にも参加して、データや情報の提供を行っています。

私たち臨床検査技師は、患者さんにとって安心して安全な医療を提供できるように業務に取り組んでいます。また、進化し続ける医療に対応できるよう、各専門分野の認定資格取得を目標に日々研鑽に励んでいます。



## 理学療法士・作業療法士 言語聴覚士



専門性とチーム医療を基盤に、安全で質の高いリハビリテーションを提供しています

脳血管障害、脳外傷、脊椎損傷、神経筋疾患、呼吸・循環器疾患、整形外科疾患、がん、小児疾患など、幅広い疾患を対象に、多職種と連携しながら、包括的なリハビリテーションを行っています。

障害そのものだけに目を向けるのではなく、その方が本来持っている力や生活背景を大切に、退院後の生活や社会復帰を見据えた支援を実践しています。

私は言語聴覚士として、理学療法士、作業療法士と協力しながら、日々患者さんと向き合っています。専門性を高めるだけでなく、社会人としても成長することのできる環境です。

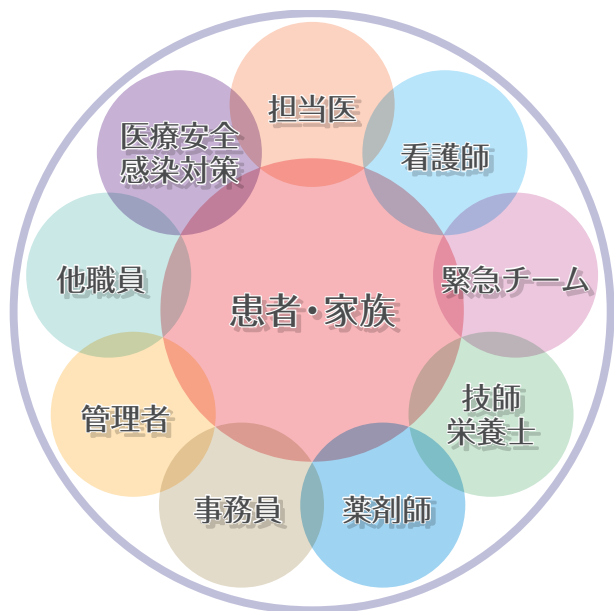


## その他の専門スタッフ

- 看護師 ●看護補助員 ●視能訓練士 ●臨床心理士 ●歯科衛生士 ●診療技術員
- 研究技術員 ●研究補助員 ●司書 ●保育士 ●営繕員 ●調理員 など

# より安全な医療の提供のために

安全な医療を提供するために「医療安全」と「感染対策」に対し、多職種からなるメンバーで組織横断的に取り組んでいます。教職員一人ひとりの安全意識の向上と共に患者さんを含めたチーム医療を推進しています。



## 医療安全

医療安全管理に関する情報の収集・分析、医療事故事例の対応支援、再発防止策の立案、対策の実践状況の調査、組織横断的な安全推進等についての中心的役割を担っています。

またチームワークを高めるために TeamSTEPS® の手法を取り入れ、患者さんとのパートナーシップを大切にし、全ての教職員がチーム医療を意識して更なる医療の安全と質の向上に繋がる為の周知活動を行っています。

## 感染対策

感染症事例の報告があった時点で速やかに ICT (感染対策部) が現場へ出向き、対策の指導を行い感染拡大の防止に努めています。

ICT ラウンドを実施し、現場とディスカッションを行い、必要な対策・治療が行えるように介入しています。

## 取り組みの一部紹介

### ■ カンファレンス



多部署・他職種が集まり、より安全な医療を行うようサポートしています。

医療現場を多職種で確認し、安全な環境作りのサポートをしています。

### ■ 院内ラウンド



### ■ 研修会



チーム医療を学ぶ研修会や、医療安全・感染対策に関する全職員（委託派遣含む）向けの研修会を開催しています。

### ■ 各種会議



院内で発生したもしくは発生しそうなインシデントについて原因究明や対策を検討しています。

# 教育制度について

30 を超える職種のスタッフがより円滑な連携をとるためにはどうすれば良いか。様々なテーマを基に、職員相互の交流を図りながら体系立てられた研修制度によって、職業人としての基本からリーダーシップ・マネジメント能力など、段階に応じた研修が用意されています。研修の内容は、めまぐるしく変化する社会状況に対応するため、必要に応じて見直されています。また、全教職員を対象とした講演会なども実施しています。

等級・職級	役割	求める能力
8 等級以上 管理職員	部門や大学の方針に基づき、運営計画を企画・立案し、適切に遂行する	<ul style="list-style-type: none"><li>● 大学経営及び社会情勢全般に関する見識</li><li>● 将来を見通す総合的判断力</li><li>● 幹部職員としての統率力</li></ul>
4～7 等級 監督職員	課の方針に基づき、業務を適切に遂行するとともに後輩の指導を行う	<ul style="list-style-type: none"><li>● 企画・立案能力</li><li>● 組織管理能力</li><li>● 問題発見力・問題解決力</li><li>● 部下育成力</li></ul>
1～3 等級 一般職員	上司の指導に基づき、自分の担当する業務を適切に遂行する	<ul style="list-style-type: none"><li>● 誠実で思いやりを持って人と接することができる</li><li>● 自ら考え主体的に行動することができる</li><li>● 柔軟で創造性豊かなコミュニケーション力</li></ul>

## OJT 制度

### OJT リーダーを中心に職場全体で新入職員を育成します

新入職員に必要な基本的な知識・スキル等を身につけ慈恵人としてのマインドも培うため、新入職員一人ひとりに OJT リーダーがつき、計画的に日々の業務の中で指導にあたります。また、所属長や職場のスタッフも OJT リーダーと連携をとり、時には直接新入職員を指導するなど、職場全体で新入職員と OJT リーダーとのマンツーマンの指導・育成環境を支え、成長をサポートします。

## 職員研修

本学では、入職 3 年目まで継続した研修を行い、その後も各等級に応じた研修を実施しています。同期の職員が職場や職種を越えて交流し話し合う機会にもなっています。

#### 新入職員

4 月：ビジネスマナー・組織人の自覚・仕事への姿勢  
2 月：年間を通じた自己の棚卸し・2 年目に向けた課題発見等

#### 2 年目研修

ビジネスマナーのブラッシュアップ  
人間関係構築のコミュニケーションスキル等

#### 3 年目研修

後輩指導・業務改善・キャリアビジョン等



# 福利厚生 ※入職1年目から利用可能

## 医療機関ならではの 福利厚生

### 勤務時間内受診制度

体調が優れない場合、勤務時間内に  
慈恵大学の受診が可能

### ワクチン接種

インフルエンザワクチンや  
小児抗体ワクチンを無料接種

### 診療費割引制度

慈恵大学を受診する場合、  
一部の自費料金（文書料金等）に  
職員割引が適用

### 入院費用限度額制度

慈恵大学に入院する場合、  
保険診療の一部負担金月額 25,000 円で  
入院可能

### 病室費用還付制度

慈恵大学に入院する場合、  
病室ベッド代が1日あたり  
最大 15,000 円還付（家族適用有）

## テーマごとの様々な 福利厚生

### 休 暇

- 年次有給休暇
- 計画年休付与制度
- 積立保存年休制度
- 年末年始休暇（12/29～1/3）

### 行 事・サークル

- レクリエーション行事(BBQ・謎解きイベント等)
- サークル（野球・サッカー・茶道等）

### 手 当

- 住宅費補助（月額最大 19,400 円）
- 通勤手当
- 慶弔金・見舞金制度
- 扶養家族手当

### リ フ レ ッ シ ュ

- 保養施設（1泊 10,000 円還付）
- ディズニーリゾート割引券
- 東京ドーム野球観戦チケット

その他福利厚生等、詳細は本学HPをご覧ください。



# Location map

都心からの交通アクセスが良く附属4病院が連携しています。





詳細は本学ホームページをご覧ください

2026年度改訂版



学校法人慈恵大学 人事課 03-5400-1211 (直通)

お問い合わせ

附属病院（本院） 東京都港区西新橋 3-19-18  
葛飾医療センター 東京都葛飾区青戸 6-41-2  
西部医療センター 東京都狛江市和泉本町 4-11-1  
附属柏病院 千葉県柏市柏下 163-1

